



不破社長

オーファが鈴鹿8耐参戦

来期に向けスポンサー募集

るトラックやフォークリフトなどの輸送機器を順次、更新していく計画だ。
同社は1964年に名古屋市内で創業。名古屋市内に2カ所の集積

チタン・ステンレス素材および加工製品の販売を手掛けるオーファ(本社「千葉県浦安市、細川寿二社長)は、7月28日から31日に渡って開催された鈴鹿8時間耐久ロードレースに「Team HOOTERS with 齊藤祥太」として出場

し、過去最高の22位の好成績を収めた。3年連続での参戦となった、暑い夏を振り返る。細川社長は「佐藤監督とライダー以外はレースド素人チームと語るように、バイク整備が出来るスタッフが2人いるだけの完全プライベートチームで、文字通り手作りのチーム運営を行ってきた。今回はマシンを前回から変更し、ヤマハ「YZFR1」を導入した。直線での最高速度が前年を使用したマシンよりも速く、細川社長は「基本性能を大幅に高めた」と語る。

だが、1カ月前にタイヤメーカーが変更になったことに加え、8耐ウィークに入った木曜日の1本目にエンジントラブルが発生し、メインマシンが走行できない事態に陥るなど「正直、不安を抱えた状態での大会入りだった」と語る。

だが、「やれば出来る。信じれば出来る」との想いのもと、同社の社名の由来にもなった「one for all for one」の精神で、3年連続での鈴鹿8耐へのエントリーに漕ぎ着けた。

チームは1年目に46位、2年目は31位と着実に順位を上げ、本年はチームの目標として20以内の達成を掲げた。だが、今年マシンを変更したこともあり「3年目という気持ちではなく、新たなスタートという想い」との言葉通り、鈴鹿のピットの中に慣れからくる緩みは感じられず、高い緊張感とみなざるやる気が溢れ出ていた。

決勝は白熱したレース展開となり、途中には目標とした20位以内の達成も視野に入る好位置をキープ。だが、終盤に惜しくも順位を落として22位でフィニッシュ。残念ながら目標には届かなかったが、プライベートチームとして上位に食い込む好成績を残し、3年連続での完走を果たした。

同社では3年に渡るレース参戦で蓄積したノウハウを、自社のチ

し、委託加工を一定量確保しているため、堅調な加工量を維持している。
同社では数年前に加工作業の安定化を図るため、破砕機を更新

格は為替が円高に振れている影響で下値を指している可能性がある抑え、安定したサービスの提供に努めていく考えだ。

タン製品につき込んでいる。新日鉄住金の耐熱チタン合金を用いたマフラーや、大同特殊鋼のチタン64合金に同社がFG処理を施したポルトなどチームのマシンに採用し、着実な成果を実戦で上げている。

レースで培った実績が評価され、現在ではワークスチームにも製品を供給するまで性能と信頼性を高めている。チームとしての成功が着実にユーザーの幅を広げ、新たな事業展開にも繋がっている。

細川社長は来期に向けた取り組みに関して「一度、2017年の同1・5円高の55・8円となった。全国(大型ローリー)でも前月から同2・1円高の49・1円となり、関東地区では同2・5円高の47・9円となった。小型ローリーでは全国で同1・9円高の57・9円となり、



22位の好成績を収めたチームが一つに

A重油価格

鉄各々料とし重油の価格

連続上昇 元は弱含み

だる、日本エネルギー経済研究所・石油情報センターによると、6月のA重油の中部地区の平均納入価格(大型ローリー)は、前月から46・9円となり、3月連続での上昇となっ

中国地区は同2・3円高の62・5円に上昇した。
ただ7月以降、国際原油価格は弱含みに転じ、為替相場も円高で推移しているため、さらなる価格上昇は考えにくい。A重油相場は踊り場を迎えている。

4-6月期 増収増益に

00万円を計上した。なお、第2四半期の業績予想は営業利益で7億5000万円から8億円へ、経常利益で8

日刊産業新聞
2016.8.8

「過去に多様なスポーツを経験し、多くの仲間と車まれた。スポーツを

井手上社長は学生時代、リオデジャネイロ五輪(17人の選出)出場す